

## C07 熊野中学校・組曲「筆の都くまの」保存会

代表者：永谷 望

住 所：安芸郡熊野町中溝6-1-1 熊野町立熊野中学校内

TEL：082-854-0109

### ① 担当社会福祉協議会

熊野町社会福祉協議会

住 所：安芸郡熊野町中溝1-11-1 中央地域健康センター内

TEL：082-855-2855

### ② 地域課題の解決のための事業の名称

組曲「筆の都くまの」の継承

### ③ 事業の総予算額(助成金申請額)

300,000円(300,000円)

### ④ 事業の目的

熊野中学校の組曲「筆の都くまの」を継続して取り組み、より発展させていくために、人的・金銭的に支援をしていく。

### ⑤ 事業の内容

熊野中学校は、平成14年度より、「地域文化の伝承と創造」をテーマにして、毎年、組曲「筆の都くまの」に、全校で取り組んでいる。これは、町内に現存する「筆まつり唄」や「筆踊り」を発展させ、和太鼓、篠笛等の和楽器、吹奏楽を取り入れて創作したもので、約30分間、全校生徒で発表するものである。

毎年、学校の体育祭や文化祭だけでなく、地域の行事である「筆まつり」のふれあいステージや「町民体育大会」のアトラクションでも披露し、現在では、町内外に「熊野中学校の組曲」として定着し、好評を得ている。また、小学生の中にも、「熊野中学校へ行って、組曲をやりたい。」という児童も多くなっている。

この取組を進めるにあたって、地域の多くの方々から指導・助言をいただいている。毎年、伝統工芸士の方に来ていただき、1年生全員が2学期に筆づくり体験を行っている。さらに、体育祭で、組曲の最初に、地域に伝わる「彼岸船(熊野中学校製作)」によって、組曲の披露の場を清める場面をもつが、その彼岸船の飾り付けや引き回し方などを、彼岸船保存会の方の指導を受けている。この体育祭で準備した「彼岸船」は「筆まつり」においても、熊野町彼岸船保存会が所有する彼岸船とともに町内をねり歩き、ゴールの榊山神社で引き回し、町民にアピールしている。(平成30年度は豪雨災害のため、町内の引き回しは中止)

### ⑥ 備考